

## 創立十周年 式辞

冷たい風が、本格的な冬の訪れを感じさせる今日この頃

本日ここに大阪府立りんくう翔南高等学校創立十周年記念式典を挙行いたしましたところご多用にもかかわらず、大阪府教育庁教育振興室高等学校課 課長 網代典子様、大阪府議会議員 土井達也様、泉南市長 竹中勇人様、を始め日頃より本校を支えてくださる多くの方々のご臨席を賜りました。誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

本校は平成二十一年四月、大阪府立泉南高等学校と大阪府立砂川高等学校を統合し普通科総合選択制高校として開校されました。その後、社会の変化に対応し、平成二十九年には普通科でコース制を設置する学校へと再編整備され新たなスタートを切りました。卒業生も約二千名を超え、社会を推進するリーダーとして活躍しています。悠久の時の流れの中で十年、それは一瞬にすぎないかもしれませんが、その時代、その時の生徒のみならず、教職員の地道な努力の積み重ねと、保護者の皆様や、地域、同窓会をはじめ多くの関係者の方々の熱いご支援があり十年の歴史を刻むことができました。心から感謝の念を捧げるものであります。

さて、りんくう翔南という校名は、2市1町が協力して創造した新しい町「りんくうタウン」とその対岸にある「関西国際空港」の近くに立地する学校の地理的特性を表しています。また、世界に羽ばたくと同時に、世界から新たなものを受け入れ、グローバルな人材を育成するという願いが込められています。十周年という節目の本年度、創立当初の願い通り学校間における国際交流も実現できました。生徒達の活躍する場所を世界へと拡大することができたのです。教職員一同子ども達の成長を願い、より一層の特色づくりにはげみ、一人ひとりを大切にしたい多様な教育への挑戦を行っているところであります。

次に、りんくう翔南高等学校に在籍するみなさんには、創立十周年という意義深い年にめぐり合わせた幸運に感謝するとともに、更なる発展を担っていく大きな責任がかかっています。これまで先輩達が培ってきた実践の上に一層強固な礎を築くともりにりんくう翔南高校の新しい展望を創造していかねばなりません。そこで、みなさんに三つのメッセージを送ります。一つ目は【時間】についてです。みなさんは今を生きていますが、今は過去と繋がっており未来とも繋がっています。時間を大切にして、思いやりの気持ちを忘れず、今を全力で生き、時に過去を振り返り、みなさんを愛してくれた人みなさんを育んでくれた環境に感謝してください。そして未来を夢見て成長していきましょう。二つ目は【場所】についてです。人は縁を感じる場所で生きてゆきます。今、大阪府泉南市樽

井のりんくう翔南高等学校に縁があり生活しています。この学校がみなさんの母校であり、今後の長い人生の中で、心の拠り所となる暖かい場所です。やがて、この学校を巣立ち、縁のある場所で活躍してゆきます。その舞台は、日本中、世界中、いや宇宙空間かもしれない。みなさんの活躍する場所は無限大に広がっています。次は【使命】についてです。人生において運命的な出会いが必ずあります。喜びを分かち合える出会いばかりではありません。困難な状況に出会うこともあります。様々な出会いの積み重ねの中で、やがて「私はこれをしなければならない」という使命を見つけることができます。その時からみなさんはその使命を果たすために周囲と協力しながら、一人ひとり自分独自の人生を歩むこととなります。思い・願い・希望を使命に高め、二十一世紀を力強く生き抜く、強く思いやりのある人に成長することを大いに期待します。

時代はパラダイムシフトの時を迎えています。教育に関しても、学習指導要領が改定され「真に生きる力」を育む教育が要請されています。創立十周年、今日と言う日は本校の歴史の通過点ではなく、次の飛躍を願って新たな出発を誓う意味があります。教職員一同すべての価値判断を子ども達の成長に置き、常に新鮮であろうと努め、地域に根ざした信頼されるりんくう翔南高等学校となるよう、「チーム翔南」としてより一層の努力を重ねる所存でございます。

卒業生の皆様方、関係保護者の皆様方には、どうか、いつまでも母校を暖かく見守っていただきますよう心からお願い申し上げます。

最後になりますが、本校創立十周年を輝かしいものとするためにご尽力いただきましたすべての皆様に深く感謝申し上げますとともに、ご列席の皆様には今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月15日

大阪府立りんくう翔南高等学校長

藤田 繁也